

令和7年度 南魚沼市立石打小学校

<国際科・国際理解教育の指導の重点>

- * 外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる
- * 日本と外国の文化に興味をもち、世界に目を向けて意欲的に学習に取り組む姿勢を育てる

◇ 児童アンケート結果 ※肯定的評価(「とても楽しい」「楽しい」)

- ◎ 国際科で学んだ英語を進んで使ったり、外国のことを学んだりすることは楽しいですか (1学期…94.3%) (2学期…94.4%)

◇ 保護者アンケート結果 ※肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)

- ◎ お子さんは外国の文化や言語に興味をもったり、学習した英語を使ったりしていますか (1学期…54.7%) (2学期…55.4%)

【考察】

- ・児童アンケートでの肯定的評価の割合は昨年度に比べ向上している(1学期 88.1%→94.3%、2学期 86.9%→94.4%)。授業を担当しているALTからの話でも、当校児童の学習意欲は全般的に高い。積極的にコミュニケーションを図り、活動を楽しむ児童、学級が多い。しかし、その反面、アルファベットやローマ字などの文字に対する苦手意識や人前で話すことへの不安や自信のなさなどが要因となり、英語に苦手意識をもっている児童もいるのが現状である。
- ・国際理解教育では、前年度に引き続き、国際大学の留学生の方から外国の文化や風習について聞きしながら見識を深める場を全学年が設定した。今年度は、インド、スリランカ、セネガル、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、バングラディシュ、ナイジェリアの方と交流する機会をもつことができた。日本とは異なる文化や風習、食べ物、国旗などに興味をもつ児童が多かった。
- ・児童アンケートと比較して保護者アンケートの肯定的評価の割合が低い。積極的な情報提供を継続するとともに、児童が家庭内で国際科の楽しさを出表するような学習課題や家庭学習を工夫し、改善する必要がある。

【学校関係者評価】※第3回学校運営協議会より

- ・中国からの観光客が減少しているとはいえ、外国からの訪日客は依然多い。これからの時代を考えると、英語能力の獲得は必須である。小学校段階から英語にふれる機会を積極的に設け、英語嫌いにならないようにしてほしい。

- ・「好き」を英語に結びつける(好きなキャラクターを英語で表記)
- ・洋楽、ディズニーソング
- ・英語にふれる(掲示物、表記)
- ・簡単な挨拶のフレーズを日常化
- ・英語アプリの使用

—— 参会者から出されたアイデア(案) ——

令和6年度 南魚沼市立石打小学校

<国際科・国際理解教育の指導の重点>

- * 外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる
- * 日本と外国の文化に興味をもち、世界に目を向けて意欲的に学習に取り組む姿勢を育てる

◇ 児童アンケート結果 ※肯定的評価(「とても楽しい」「楽しい」)

- ◎ 国際科で学んだ英語を進んで使ったり、外国のことを学んだりすることは楽しいですか (1学期…88.1%) (2学期…86.9%)

◇ 保護者アンケート結果 ※肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)

- ◎ お子さんは外国の文化や言語に興味をもったり、学習した英語を使ったりしていますか (1学期…53.0%) (2学期…60.5%)

【考察】

- ・児童アンケートでの肯定的評価の割合は1学期 88.1%、2学期 86.9%であった。昨年度に比べやや微減となってしまったが、学習に対する意欲は高い。しかし、その反面、アルファベットやローマ字などの文字に対する苦手意識や人前で話すことへの不安や自信のなさなどが要因となり、英語に苦手意識をもっている児童もいる。
- ・国際理解教育では、前年度に引き続き、国際大学の留学生の方から外国の文化や風習について見聞きしながら見識を深める場を全学年が設定した。今年度は、インド、スリランカ、パプアニューギニア、ウズベキスタンなどの国の方と交流することで、日本とは異なる文化や食べ物、建造物などに興味をもつ児童が多かった。
- ・児童アンケートと比較して、保護者アンケートの肯定的評価の割合が低い。積極的な情報提供に努めるとともに、児童が家庭内で国際科の楽しさを表出するような学習課題や家庭学習を工夫する必要がある(次年度は児童の学習用端末に英語を学ぶためのアプリを導入する予定である)。

【学校関係者評価】※第3回学校運営協議会より

- ・最近の南魚沼市内や石打丸山スキー場などの地区内の観光客を見ると、以前にも増して、外国からの訪日客が多い。これからの時代を考えると、英語能力の獲得は必要になるであろう。翻訳アプリなどもあるが、小学校段階から英語にふれる機会を積極的に設けてほしい(話す・聞く能力の向上)。
- ・文化的多様性を大切にすることが、子どもたちの英語への興味や関心を高めることにつながる。グローバル化が進み、国境を越えた交流が盛んとなった現代において、異なる文化への理解と尊重は、必要不可欠である。そのような状況の中で、子どもたちが言語をただ習得するだけでなく、文化的な意識と感性を身につけるための支援者として、学校は重要な役割を担っていると思う。

令和5年度 南魚沼市立石打小学校

<国際科・国際理解教育の指導の重点>

- * 外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる
- * 日本と外国の文化に興味をもち、世界に目を向けて意欲的に学習に取り組む姿勢を育てる

◇ 児童アンケート結果 ※肯定的評価(「とても楽しい」「楽しい」)

- ◎ 国際科で学んだ英語を進んで使ったり、外国のことを学んだりすることは楽しいですか (1学期…90.8%) (2学期…89.1%)

◇ 保護者アンケート結果 ※肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)

- ◎ お子さんは国際科で英語を使ったり、外国のことを学んだりすることが「楽しい」と言っている (1学期…55.0%) (2学期…57.1%)

【考察】

- ・児童アンケートでの肯定的評価が1学期 90.8%、2学期 89.1%であり、学習意欲が高い。
- ・毎時の授業に、ペアやグループ対抗などのゲームを取り入れた活動を行うことで、児童は楽しみながら学習に取り組んでいる。
- ・学級担任とALTが毎時の授業の進め方についての打ち合わせや役割分担を事前にしており、テンポよく授業を進めることで、児童は飽きることなく集中して学習していた。また、児童の反応の様子から、次時の方向性を確認することで、児童の実態に即した学習活動を展開することができた。
- ・国際理解教育では、国際大学の留学生の方から外国の文化や風習について見聞きしながら見識を深める場を全学年が設定した。日本とは異なる文化や食べ物、建造物などに驚きの声をあげたり、積極的に英会話で質問をしたりするなど、主体的に学習に取り組む児童の姿が数多く見られた。
- ・児童アンケートと比較して、保護者アンケートの肯定的評価の割合が低い。積極的な情報提供に努めるとともに、児童が家庭内で国際科の楽しさを表出するような学習課題や家庭学習を工夫する必要がある。

【学校関係者評価】※第3回学校運営協議会より

- ・小学校の段階では、外国の方と英語を使ってコミュニケーションをとることが楽しいという体験を多く積むことが大切である。
- ・最近の南魚沼市内や石打地区の観光客を見ると、以前にも増して、外国からの観光客が多い。これからの時代を考えると、英語能力の獲得は必要になるであろう。そのような背景を考えると、小学校段階からの英語教育をぜひ進めてもらいたい(話す・聞く能力の向上)。
- ・これからの社会では英語を話し聞き取る力、コミュニケーション能力を身に付けることが大切になってくる。授業でそういった力を身に付けることも必要であるが、地域でも外国の方とかわる事業を企画するなど、工夫できることはたくさんある。
- ・英語の習得に関する保護者の関心は、アンケート結果をみるとそれほど高いとは言えない。児童に意欲をもたせるとともに、家庭へのアピールも必要である。

令和4年度 南魚沼市立石打小学校

<国際科・国際理解教育の指導の重点>

- * 外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる
- * 日本と外国の文化に興味をもち、世界に目を向けて意欲的に学習に取り組む姿勢を育てる

<自己評価>

- ・児童アンケートでは肯定的評価が1学期 95.7%、2学期 94.8%とともに高く、国際科で学習した英語を進んで使うことに楽しさを感じている児童が多い。大きな理由の1つとして、授業の初めに行う「フォニックス」の時間が挙げられる。英語の特徴的な発音を、動作を伴いながら正しく発音することができる。児童にとっては、楽しみながら正確な発音を学ぶことが自信にもつながっている。
- ・授業では、ペアやグループ対抗などのゲームを取り入れた活動をすることで、児童は楽しみながら学習したことを使ったり覚えたりすることができた。学級担任とALTが役割分担し、テンポよく授業を進めることで、児童は飽きることなく集中して学習することができた。
- ・国際理解教育においても活動を工夫することで成果を上げることができた。国際交流会では、国際大学留学生の出身国の文化を理解したり、授業で学んだ英会話を用いて留学生と会話を楽しんだりする児童の姿が見られた。

◇ 児童アンケート ※肯定的評価(「とても楽しい」「楽しい」)

- ◎ 国際科で学んだ英語を進んで使ったり、外国のことを学んだりすることは楽しいですか (1学期…95.7%) (2学期…94.8%)

◇ 保護者アンケート ※肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)

- ◎ お子さんは国際科で学んだ英語を進んで使ったり、外国のことを学んだりすることが楽しいと言っていますか (1学期…64.7%) (2学期…64.7%)